かけはし

令和元年６月号
高松市立
男木小・中学校

「瀬戸内国際芸術祭 2019」

「瀬戸内国際芸術祭 2019」の春会期が始まり、島内が多くの人で賑わっています。ゴールデンウィークや週末はすごい数の人が押し寄せたと聞いていますが、普段の日でもフェリーの座席に座れない状況が続いています。

学校では、子どもたちに本物体験の積み重ねによる情操教育を進めています。芸術祭が行われることで、島内に本物の芸術作品が多く存在しており、夏・秋会期も含めて、教育に活用していきたいと考えています。　　校長　溝渕　浩二

月中行事

【６月】

１	（土）	男木島大運動会
３	（月）	振替休業日
４	（火）	全校集会
		プール清掃
		子育て力向上応援講座
		給食参観
		内科検診
		教育相談週間（～７）
５	（水）	第１回学習の診断
６	（木）	４時間授業（小）
１０	（月）	諸費集金日
１２	（水）	プール開き
		期末テスト発表（中）
１３	（木）	はみがき指導
１４	（金）	心電図検査（小１）
１９	（水）	期末テスト①
２０	（木）	期末テスト②
		４時間授業（小）
２１	（金）	期末テスト③
		児童生徒会
２７	（木）	クラブ活動
２８	（金）	ＡＬＴ来校
		道徳の日

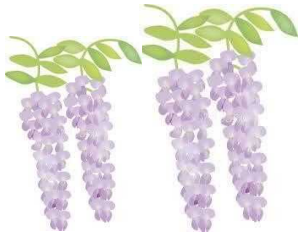
コラム

「鑑賞」と「観賞」の違いについて

「鑑賞」→芸術作品を理解し、味わうこと。(広辞苑)
「芸術作品」とは、映画や音楽、絵画など人が作ったもののことです。例えば、以下のように使います。
・映画を鑑賞する・音楽を鑑賞する
「鑑賞」の語源→よく考え調べて善悪などを見わける。(漢字源)
したがって、「鑑賞」は音楽や映画など人によって評価が分かれる物に対して使います。
「観賞」→ものを見て楽しむこと。(広辞苑)
この場合の「もの」は自然の景色や動植物などが対象になることが多いようです。
・熱帯魚を観賞する　・桜の花を観賞する
「観」の語源は「観光」や「観測」などがあり、「目でよく見る」ことです。
つまり「鑑賞」と「観賞」の違いは基本的に「味わう対象が芸術的なものかどうか」で使い分けるようです。しかし、この使い分けは難しい場合もあり、例えば盆栽や生け花、花火など、その対象を芸術と考えるかどうかです。
今年はぜひ瀬戸内の自然や芸術祭の作品を「かんしょう」しましょう。

生活目標

身だしなみを整えて、気持ちよく生活しよう。



学校生活のできごと

学校探検

４月１６日（火）１８日（木）に小学１・２年生が学校探検をしました。職員室を見学するときは少し緊張しましたが、教室の様子を興味深く観察し、様々な発見をすることができました。また２年生は各教室の説明をわかりやすく１年生に教えてあげることができました。

町探検

４月１７日（水）に小学４年生が町探検に出かけました。男木島の防災施設について調べ、消火栓や消火器の場所を地図に表しました。消火栓が男木島全体にちらばってあり、地域の安全がまもられていることを改めて実感しました。

学習参観

４月２０日(土)に学習参観を行いました。小学１・２年生は教科書の朗読を堂々と発表することができました。小学４年生は気持ちを伝える作文の書き方を学習し、自分の日記をより良くすることができました。どの子も真剣に授業に取り組み、頑張りました。

春の遠足

４月２６日(金)、小学生が遠足に栗林公園へいきました。和船に乗る体験をしたり広い芝生を思いっきり走ったりと楽しい時間を過ごすことができました。みんなでお弁当を食べ、みんなで遊び、より仲良くなれたと思います。

瀬戸芸鑑賞

５月１３日（月）に中学生が瀬戸内国際芸術祭の作品を鑑賞しました。曲線や丸のたくさんの模様と鏡を使い、宇宙の空間を表現した「宇宙華・舞・環」など想像力をかきたてられるような作品ばかりで、作者が作品を通して何を伝えたいのかを考えながら鑑賞しました。